

街路事業

おおたわら **大田原都市計画道路 3・4・2号** にしなすの **西那須野線**
おおたわらたかばやし (主要地方道 **大田原高林線**) ちゅうおう **中央工区**
 (平成 30 (2018) 年 3月 供用)

1. 事業概要

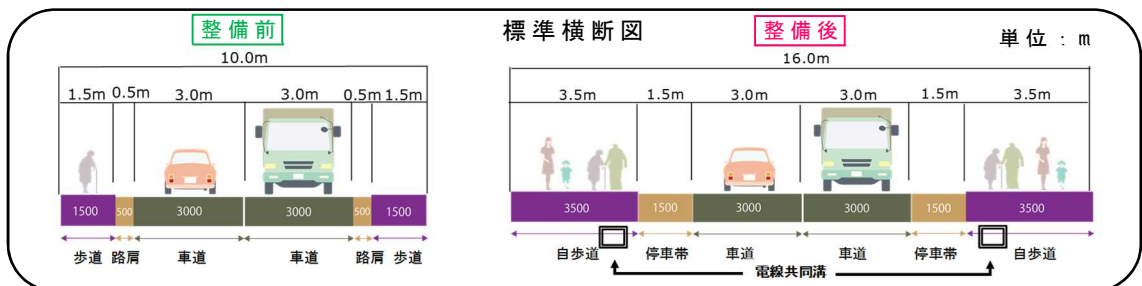
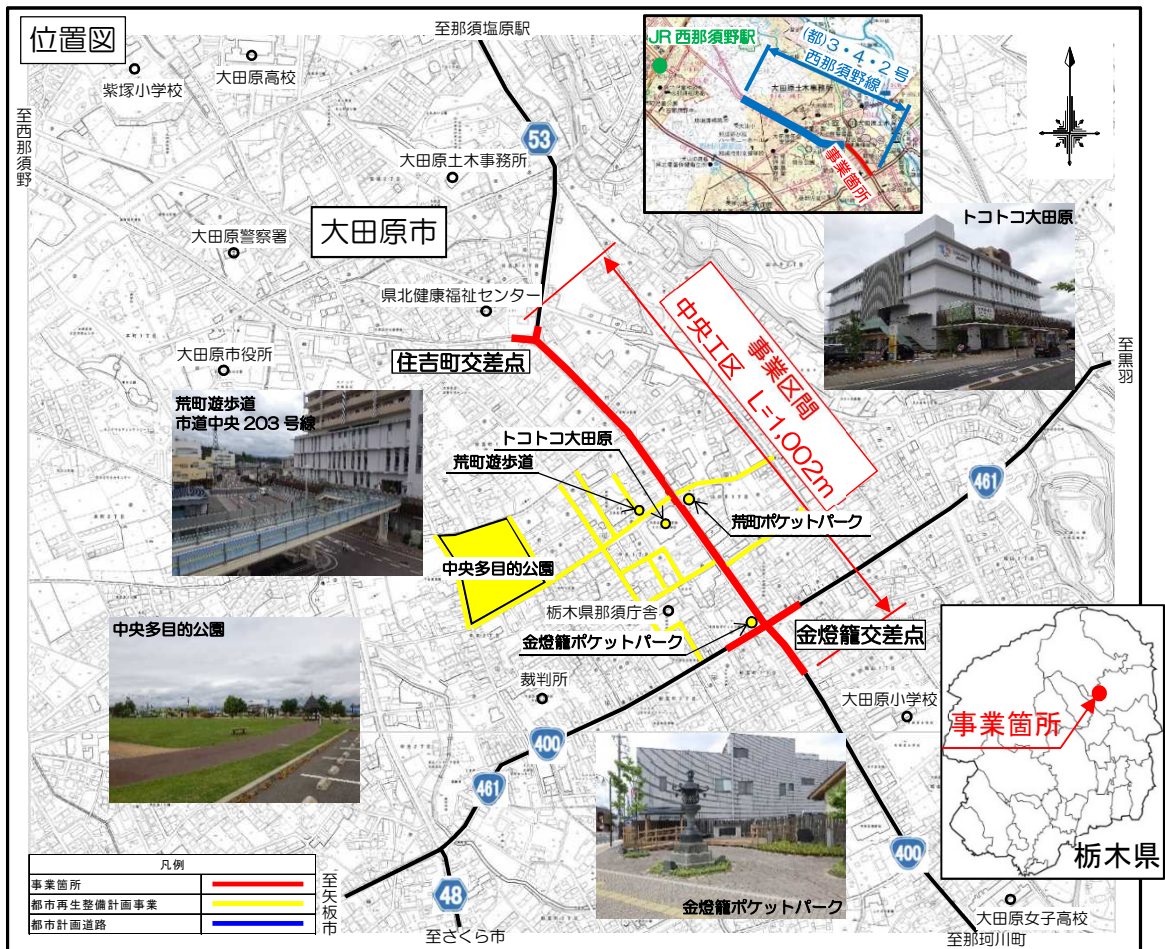
大田原都市計画道路 3・4・2号西那須野線は、大田原市の中心市街地を縦断し、隣接する那須塩原市西那須野地区とを結ぶ、都市の骨格を形成する道路である。本工区は沿道に商店が密集しているとともに、大田原小学校の通学路として利用されていることから、多くの自転車歩行者及び自動車に利用されている区間である。

しかし、整備前は、1.5m程度の歩道上に電柱が立ち並んでいたことから歩行空間が狭く、特に朝夕の通勤通学時間帯には自動車と自転車が錯綜し、交通事故が頻繁に発生していた。

さらに、金燈籠交差点はクランク形状であり、交通事故の危険性が非常に高い交差点であった。

一方、大田原市では中心市街地の活性化を図るため、中心市街地活性化基本計画に基づき、地元との協働のもと、様々なハード・ソフト事業に取り組んでいた。

このため、栃木県では、市の事業と一体となって「円滑な交通の確保」、「安全で快適な通行空間の確保」、「中心市街地活性化への寄与」、「街並み景観と都市防災機能の向上」を目的として、平成 21 年度から現道拡幅及び電線共同溝の整備に着手し、平成 30 年 3 月に供用を開始した。



- ◆事業名：街路づくり事業
- ◆事業主体：栃木県
- ◆事業箇所：大田原都市計画道路 3・4・2 号西那須野線
主要地方道大田原高林線
大田原市^{しんとみちやう}新富町～大田原市^{すまよしちやう}住吉町
- ◆全体延長：L=1,002m
- ◆幅員：W=16.0m（車道 3.0m×2、自転車歩行者道 3.5m×2）
- ◆総事業費：約 40 億円
- ◆事業期間：平成 21 年度～平成 29 年度（供用開始：平成 30 年 3 月）

2. 事業の目的・必要性

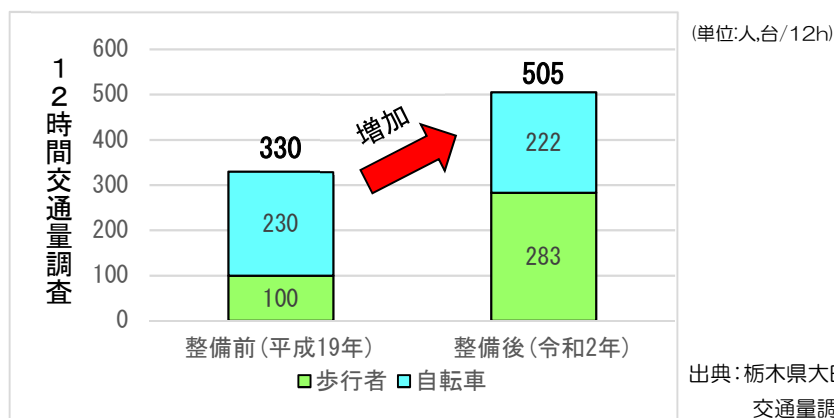
- (1) 円滑な交通の確保
- (2) 安全で快適な通行空間の確保
- (3) 中心市街地活性化への寄与
- (4) 街並み景観と都市防災機能の向上

3. 事業の整備効果等

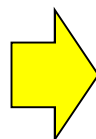
(1) 円滑な交通の確保

歩道拡幅(整備前 1.5m→整備後 3.5m)と電線の地中化により歩行者・自転車が快適に通行できるようになったとともに、市が実施する都市再生整備計画事業と一体的に整備を行ったことで歩行者・自転車の交通量が増加した。

事業区間における歩行者・自転車交通量の変化



<整備前>

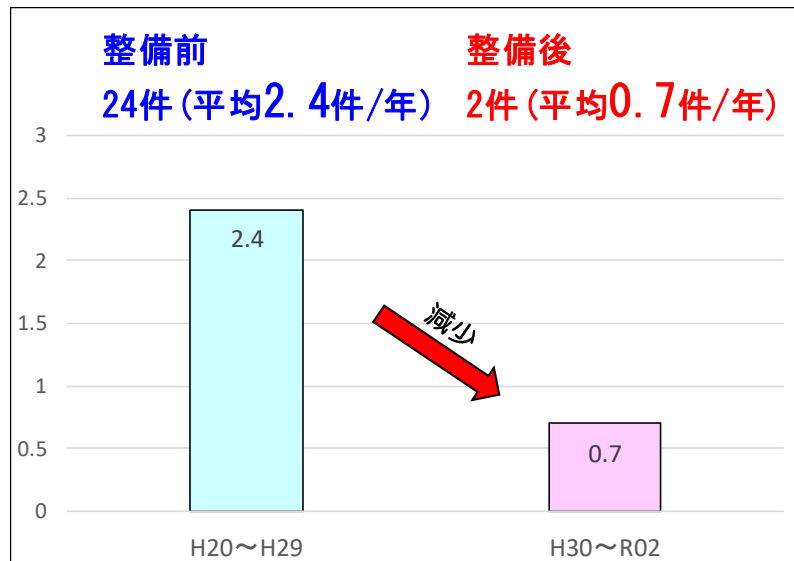


<整備後>

(2) 安全で快適な通行空間の確保

歩道、車道の拡幅により、歩行者・自転車及び自動車が別々の空間を移動できるようになったため、交通事故（人身事故）件数が減少し、地域の安全性が向上している。

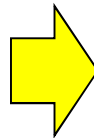
交通事故発生件数の推移



出典：大田原土木事務所保管資料・栃木県警公開資料



<整備前>



<整備後>

(3) 中心市街地活性化への寄与

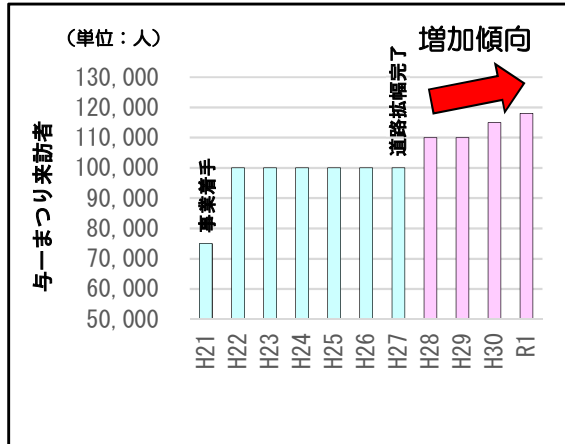
- 1) 大田原市中心部の商業の活性化と市街地の改善を図るため、大田原市が地元と協働で取り組んできた様々なハード・ソフト事業と、本事業による円滑性や安全性などの整備効果との相乗効果により、中心市街地の活性化に寄与している。

○利用者アンケート結果から

- ・本事業の整備が市街地活性化に寄与していると感じている人の割合：71%

- 2) 毎年5月に実施される「与一まつり」では本事業箇所をまつり会場の一部として利用しているが、整備後の来訪者数は増加傾向であり、イベント空間として利用しやすくなっていることから、街なかのにぎわい創出に貢献している。

〈与一まつり来訪者数推移〉



〈整備後の与一まつりの状況〉



出典：大田原市商工観光課資料

(4) 街並み景観と都市防災機能の向上

- 1) 電線類の地中化と歩道の美装化により、大田原市の中心市街地として、魅力的な都市景観が形成されている。

○利用者アンケート結果から

- ・街並みや道路景観が良くなったと感じている人の割合：89%

- 2) 電線類の地中化により電柱を撤去し、十分な道路幅員を確保したことで、都市防災機能が向上している。

○利用者アンケート結果から

- ・電線地中化により、地震時の防災性が向上したと感じている人の割合：94%

道路空間の状況



〈整備前〉



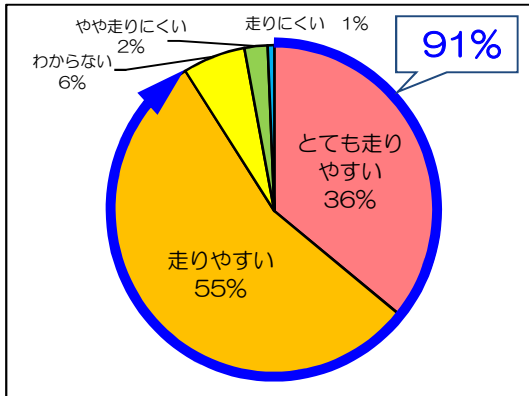
〈整備後〉

4. 地元の声（アンケート結果）

3・4・2号西那須野線中央工区の整備効果を検証するため、地域住民やトコトコ大田原利用者、企業等にアンケート調査を実施した。

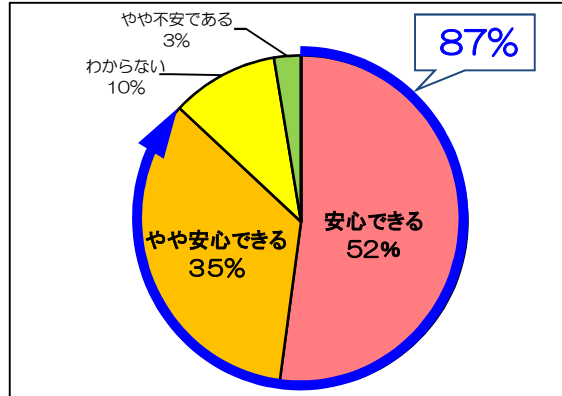
（回答数466件 / 配布数572件：回収率 81.5 % ※有効回答数は設問により異なる。）

(1) 走りやすさ/歩きやすさ



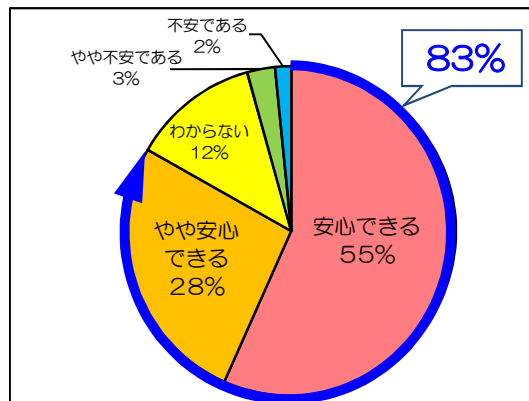
91%の方が、良くなったと感じている。

(2) 交通安全の安心感(車両・バイク)



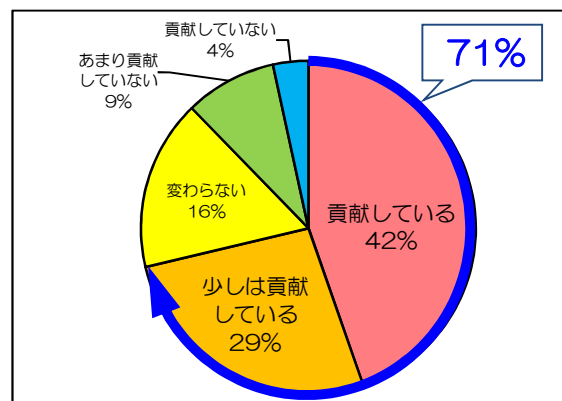
87%の方が、安心できると感じている。

(3) 交通安全の安心感(歩行者・自転車)



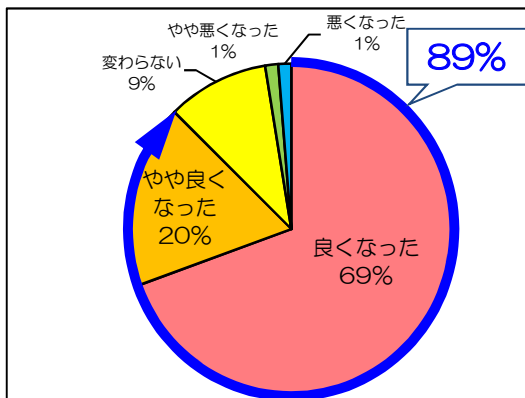
83%の方が、安心できると感じている。

(4) 地域活性化への貢献



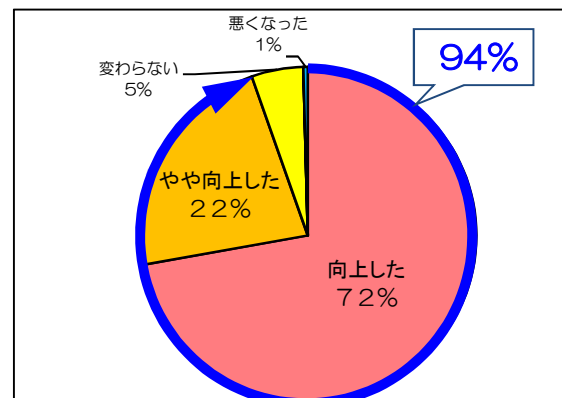
71%の方が貢献していると感じている。

(5) 街並みや道路景観



89%の方が、良くなったと感じている。

(6) 電線地中化による地震時の防災性



94%の方が、向上したと感じている。

(7)自由意見（意見の多かった内容等）

- ◇見通しが良くなり安心して運転できるようになった。
- ◇電柱の埋設により明るく広々となった。
- ◇今までより中心市街地へ足を向けるようになった。
- ◆歩道内を逆走する自転車や速度超過する車両が増えた。

5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置について

本事業により、「①円滑な交通の確保、②安全で快適な通行空間の確保、③中心市街地活性化への寄与、④街並み景観と都市防災機能の向上」といった整備効果を確認することができた。また地域の利用者のアンケート調査結果からも事業の効果を確認できた。このことから、今後の事後評価の必要性はないと考える。

なお、アンケート結果から、道路が広くなったことに伴い、歩道内を逆走する自転車や車道を速度超過する車両が見られることから、交通管理者とも調整し、より安全な道路空間の創出に取り組んでいく。

6. 同種事業への反映

本事業は、大田原市中心市街地の活性化を図るため、大田原市や地元協議会が実施するハード・ソフト事業と連携した整備を実施し、街づくりの観点で、中心市街地活性化に寄与することができた。

今後も同種事業を実施する際には、街路事業として市街地の活性化に寄与するよう市町の街づくり計画との連携を図りながら、限られた予算の中で事業の効率性を高め、早期に事業効果が発揮できるように努めていく。

栃木県 県土整備部 都市整備課

TEL : 028-623-2475 FAX : 028-623-2477
HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>
E-mail : tseibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ